



# 11月トリアだより



11月の活動

月	火	水	木	金
2 運動 認知課題 	3 休み (文化の日)	4 音楽・絵画  スモック	5 お店屋さんごっこ  スモック	6 感触・ルール  スモック
9 屋外・手指  帽子	10 音楽・絵画  スモック	11 お店屋さんごっこ  スモック	12 制作(勤労感謝の日) ルール  スモック	13 運動 認知課題  スモック
16 音楽・絵画  スモック	17 お店屋さんごっこ  スモック	18 壁面制作・手指  スモック	19 屋外(勤労感謝デー) 認知課題  帽子	20 誕生会・絵画  スモック
23 休み (勤労感謝の日)	24 感触・ルール  スモック	25 運動 認知課題  スモック	26 音楽・絵画  スモック	27 音楽  【早降園日】
30 感触・ルール  スモック 【避難訓練】	<p>※19日の屋外では、中央消防署南林寺分遣隊に12日の制作で作った作品を渡しに行きます。 雨天や消防署員が緊急出動している際は中止となりますのでご了承ください。</p> <p><b>専門職の来所日は下記になります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語聴覚士(永山)4(水),9(月),12(木),13(金),17(火),19(木),25(水),28(土)</li> <li>・公認心理師(松本)6(金),10(火),18(水),21(土),27(金)</li> <li>・理学療法士(樋口)5(木),11(水),24(火),30(月)</li> <li>・言語聴覚士(仮上)4(水),5(木),13(金),16(月),17(火),20(金)</li> </ul>			

・6月のトリアだよりに記載しております活動の参観方法について、一部変更があります。

9月に天文館の飲食店でクラスタ感染があったことから、参観の際は保護者より希望の連絡を頂くことは変わりませんが、当日の参観の希望人数やお子様的人数によっては、受け入れを断らせて頂きたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症の流行傾向によっては、一部対応を変更する可能性もありますので、その際はまたこちらからお知らせ致します。

大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

・8月からコードモンの運用を開始しております。当日キャンセルにつきましては、電話にて連絡をお願い致します。

・13時50分頃より、引き継ぎを開始しています。14時15分までに来所されない場合は、一度ご連絡をさせていただきます。

・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までに登園までにご登園下さい。給食準備の為、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。

・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。(記名が不鮮明な物については、書き直しをお願い致します。)

・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。

・お子様のことで悩み事や困り事等ありましたらご相談下さい。交換ノートも必要に応じてご利用下さい。一度お預かりし、返事を書かせて頂きます。

・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、ズボン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。



## 利き手について

皆さんの利き手は右ですか、左ですか？専門的には「利き手とは日常必須の習慣的行為における一方の多用傾向を言い、本人が主観的に使いやすいと感じる側が間違いなく利き手である」とあり、「社会的規範のために変換される場合でも、変換された行為(書字・箸など)以外についての使いやすさは本来の使用傾向のある側に残る」とされています(引用：神経心理学入門、医学書院)。

難しいですね。つまり利き手は脳の働きと関係しますので、生まれた時に既に決まっていると考えられています。利き手が定まるのは4～7歳(諸説あり)と言われますが、それは利き手が決まっていないのではなく、どちらの手もまだ十分に使えないためにはっきりしない、ということになります。生活環境の多くが右利き用に作られているにも関わらず左手を使うということは、それだけ左が使いやすいとも言えます。そのため、もし右利きに変えてあげたいと思う場合には少し注意が必要になると考えています。

まず、幼いうちは道具や場面で使う側が変わりやすいので、利き手を決めつけず、両手ともよく使うことを大事にするとよいでしょう。また左利きの傾向が出てきた時にも、左の使用を否定せずに「上手にできるね。こっち(右)でもしてみよう」と誘ったり、5～6歳になって理由がある程度理解できるようになったら、本人の使いやすさ、考えも確認し、お互いの納得の上で一緒に練習したりするという関わりが望ましいと思います。そのお子さんにとって使いにくい側で練習するのですから時間がかかりますし、理由がわからずに左手の使用を止められると、自分はだめだと感じてしまう場合もあります。焦らずに関わりましょう。

もちろん、現在は左利きに対するとらえ方も変わり、左利き用の道具も身近になり、利き手の変更はせずに困った時には一緒に考えて工夫することも選択の一つです。ちなみに私は右利きですが、この仕事を始めてから、脳を広く使い、体のバランスを整えるために、意識的に左手も使うようにしています。皆さんもいかがでしょうか？



言語聴覚士 永山理香

